

法大ラスト1キロ滑り込み3年ぶりシード、 中大は10年ぶり 早大、東海大が圏外



復大学駅伝競走 ★ SAPPORO

総合

10位でゴールした法大・川上有生

「箱根駅伝・復路」（3日、神奈川県箱根町芦ノ湖駐車場～大手町） し烈なシード権争いは、9位に帝京大、10位に法大が入り、次回大会の出場権を獲得した。一方で、東海大、早大はシード圏外となった。 【写真】シード権を逃し顔を歪ませる東海大・吉富裕太 1人で立ち上がりず両脇を支えられる 残り1キロ前後で、法大の川上有生（3年）が東海大をかわして10位に浮上。激戦を制して、3年ぶりのシードを確保した。6位に入った中大は、12年大会以来10年ぶりのシード権となった。11位に東海大、12位に神奈川大で、早大は13位、明大が14位だった。 10位までの順位は（1）青学大、（2）順大、（3）駒大、（4）東洋大、（5）東京国際大、（6）中大、（7）創価大、（8）国学院大、（9）帝京大、（10）法大。 昨年大会で圏外だったチームでは、中大と法大がシード権獲得。今大会のシード組では、東海大、早大が圏外となつた。